

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4171600226		
法人名	社会福祉法人 歌垣福祉会		
事業所名	グループホーム うたがきの里		
所在地	佐賀県杵島郡白石町大字築切264番地1		
自己評価作成日	令和6年11月18日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市天神一丁目4番15号		
訪問調査日	令和6年12月19日	外部評価確定日	令和7年2月21日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

田園に囲まれ、近くには小学校や保育園があり環境に恵まれ、散歩時には小学生が声をかけてくれたり、散歩中の園児が立ち寄り一緒に歌ったりしています。また、利用者様に楽しんでいただけるよう外食・買い物・ドライブ(令和3年度はコロナ禍の影響で中止)や季節行事には工夫を凝らしています。ウッドデッキでの外気浴や散歩による気分転換、レクリエーションや生活リハビリによる身体機能の維持にも努めています。晩秋になると佐賀の名物でもあるパルーンが上空まで飛んで来る事があり、利用者様、職員は歓喜して手を振る光景も見られます。ホームの菜園で採れた野菜を美味しく頂かれ喜んでいただきました。ゆっくりとした雰囲気の中で、笑いの絶えないホームです。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

田園に囲まれ交通量も少なく環境の良い場所に創立20年となる。法人が経営する広い敷地内にデイサービス、居宅介護支援事業所、在宅介護支援センターと並びグループホーム「うたがきの里」がある。敷地の周囲には桜並木がある。ホームの向かいには学校、幼稚園があり子供たちの姿や声が聞こえる。管理者はじめ経験豊富な職員も多く、職員の入れ替わりも少なく、利用者は安定した雰囲気の中で過ごせている。管理者は、利用者が家と同じ暮らしが出来るような支援に努めている。家族は利用者が元気なうちに多くのふれあいをしてほしいと願っている。毎年外部評価を受けサービスの質の向上と改善を目指している。経験豊富な男性職員は他の職員の頼りになる存在であり心強く、コミュニケーションも良く働きやすいと話している。

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。〕

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝、朝礼時に基本理念と各ユニット内の介護理念を唱和し職員の意識付けに繋がっています。	毎朝、朝礼時に基本理念と各ユニット内の介護理念の唱和を行い職員の意識付けを図り実践に繋がっている。	理念の変更はない。各棟に介護理念があり、今回「服薬理念」を追加し朝礼で唱和している。事務所に掲示され、職員は理解されている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	新型コロナウイルスが5類に移行し感染も緩和され地域のクリーンデーや地元消防団との合同避難訓練を実施し、地方協力員さんも参加して頂くことができた。	以前は近隣の保育園・学校との交流をしていたがコロナウイルスが5類移行になってからでも前のようには出来ていないのが現状である。避難訓練に関しては今年度より地元消防団や地域協力委員の参加にて合同で行いました。また地区のクリーンデーに職員が参加し、食材は地域の店での購入を行い、散髪は地域の理髪店に来てもらっています。	自治会に加入し町内の情報は得られている。コロナ禍を境に交流は少なくなったが町内のクリーンデーには職員が参加している。今後、保育園やボランティアとの交流も少しずつ対応していきたい。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	新型コロナウイルスが5類に移行したがなかなか交流はできず活かしていない。	新型コロナウイルスが5類に移行したが感染予防御為、交流は出来ず活かしていません。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月毎に運営推進委員会を実施し、会議では施設の状況活動報告を行い、委員会の意見提案等を職員会議で職員に報告し、検討しながらサービス向上に活かすようにしています。	2ヶ月毎の運営推進委員会は実施している。会議ではホームでの状況や活動報告を行い、委員の方からの意見や提案等職員会議で職員に報告し検討しながらサービスの質の向上に活かしている。	2ヶ月に1回委員、家族の参加で開催出来るようになった。利用状況、活動報告、ヒヤリハットの報告もある。民生委員から投薬、誤薬がないようにチェック表を作るなどの助言を得て、解決出来ている。	

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進委員会のメンバーとして参加して頂いている。他、相談連絡を電話で行える様、役場の高齢者係との関係を保っている。介護相談員の訪問もあり利用者との関わりを持って頂きました。	運営推進委員会のメンバーとして参加して頂いている。他、相談連絡を電話で行える様、役場の高齢者係との関係を保っている。介護相談員の訪問もあり利用者との関わりを持って頂きました。	困り事や問題は事業所で解決出来ることもあるが法人に相談されることもある。生活保護の方の入居もあり役場より訪問がある。待機者の確認も行われており、行政との繋がりを大事にしている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員会議で事故、ヒヤリハット報告書で意見交換を行い、話し合いの場を設け、職員間で共有し身体拘束のないケアに努めている。	玄関の施錠をはじめ身体拘束をしないケアに取り組んでいます。身体拘束については資料の回覧や勉強会をおこない身体拘束の内容やその弊害を理解し努められるように職員に周知徹底している。	法人、事業所で身体拘束、虐待防止の研修が行われており、職員会議の際には研修報告を配布している。安全のため人感センサーマットは使用している。言葉遣いにも気配りし、自分が言われたくないことは言わない等に注意している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議の中で研修参加者の報告や研修会を通して、職員の意識付けを行いました。	職員会議や研修参加の職員より資料や報告を通して職員の意識付けに努めた。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	利用者の中に生活保護受給者の方がおられ、町社協あんしんサポートを利用されており、本人様と関係機関との話し合いを支援しています。	実際、利用者の中に生活保護受給者の方がおられ、町社協あんしんサポートを利用されており、本人様と関係機関との話し合いを支援しています。しかし、職員に対する権利擁護に関する制度についての学びの機会はなかった。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時の契約や改定時は書面等にて十分説明し理解・納得を得られるように努めています。	契約や改定時は書面をもって説明し理解と納得を得られるように努めています。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や病院対応時に意見、要望を聞き利用者については日常の会話から得た情報をケース会議等で話し合いサービス提供に反映させています。	新型コロナウイルスが5類移行になり、以前のように居室での家族様との面会が出来るようになりました。家族様の来所時にはモニタリングや近況報告等を直接行いご意見・ご要望を伺い、また、利用者様においては日常の会話から得た情報をケース会議等で話し合いサービス提供に反映させています。	面会は30分程度、3人まで自由に居室で面会が出来る様になった。面会時に家族から、歩かせて欲しい等の意見や要望を聞く事が出来、ホームでの日頃の様子も伝える事が出来ている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	朝礼時や職員会議、ケース会議、日常業務においても意見や気付きをその場で出し合い、運営に反映するように努めています。	朝礼時や職員会議、ケース会議、日常業務中においても意見や気付きをその場で出し合い運営に反映するように努めています。	法人内、事業所内の職員異動はあるが、職員の入れ替わりも少なく、永年勤続、経験豊富な職員が多い。仕事の事は何でも相談でき、意見も言い易い。もめ事や相談事は会議で話し合いがされ解決されている。ストレスを溜めない様声を出す、声を拾う等管理者は職員の様子を観察されている。職員のコミュニケーションも良く働き易い職場となっているようだ。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に2回自己評価表をし、業務内容や業務への姿勢を振り返り、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	自己評価表により各自の評価を示してもらい、それを基にして再度評価を行っています。労務規定により随時、労働環境整備に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人として職員の資質向上について事業計画に掲げており、施設内外の研修への参加や資格取得の推進を行い特別休暇扱いなどで取りやすい機会を設けている。	法人として職員の資質向上について事業計画に掲げており、施設内外の研修への参加や資格取得の推進を行い特別休暇扱いなどで取りやすい機会を設けている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホームによる地域連携協議会主催の研修会や町内の医療福祉連携研修など参加ができず、交流を通じたサービスの質の向上は出来ていない。	新型コロナウイルスが5類に移行後もグループホームによる地域連携協議会の取り組みも途絶えているのが現状です。また町内の医療福祉連携研修などの参加が出来ず交流を通じたサービスの質の向上は出来ていない。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に家族様や担当ケアマネジャー等より基本情報を参考にし本人様との良好な関係を築きながら、要望や不安事を傾聴し不安軽減に努めています。	入居前に担当ケアマネジャーや家族様に聞き取り調査をし利用者様本人、困っていること、不安なこと、要望等に出来るだけ添えるような関係作りに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に施設見学をして頂き、家族様の思いや要望を聞き取り会話をしながら信頼関係が築けるように努めています。	入居前に施設見学をして頂き、家族様の思いや要望を聞き取り会話をしながら信頼関係が築けるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	担当ケアマネジャーや関連する事業所からの情報をベースに本人様や家族様の要望に応えられる支援を見つけるように努めている。	担当ケアマネジャーや以前の事業所からの情報に基づき本人様や家族様の要望に応えられる支援を見つけるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人様の出来る部分の発掘をし、日常生活の中で職員と共に取り組む事の機会を作り良好な関係が出来るように努めています。	利用者様の残存機能を活かしながら職員と共に生活を営む者として良好な関係性を築くよう心掛けている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時の制限が緩和され、居室内での面会ができるようになりました。近況報告や不穏時に家族様の協力を頂き電話対応なども行っています。利用者と家族様の絆を大事にし共に支え合う関係に努めています。	コロナウイルス感染症が5類に移行になり家族様の面会は出来ているも、外出に関しては原則病院受診以外は中止としている状況である。不穏時どうしても職員では対応出来ない場合、電話による協力やリモート面会等で協力して頂き、本人様と家族様の絆を大事にして共に支え合う関係に努めています。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	新型コロナウイルスが5類となったが、外出が出来ない状況である。玄関先での面会や電話、プレゼントといった形で馴染みの人おのとの関係の継続を絶たないように支援に努めています。	外出規制もありなかなか馴染みの場所への支援は難しくなっていますが、面会や電話、手紙、プレゼントといった形で馴染みの人との関係の継続を絶たないように支援に努めています。	近所の友人、子供、孫との面会ができるようになり喜ばれている。電話や手紙での交流も楽しみとなっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様一人ひとりの過ごされ方を把握し、利用者様同士が良好な関係で過ごせるようにレクリエーションや行事といったものを通じて支援に努めています。	利用者様一人ひとりの過ごされ方を把握し、利用者様同士が良好な関係で過ごせるようにホールの席を工夫し、時には職員が中に入り孤立を防ぎレクリエーションや行事といったものを通じて支援に努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	終了された方の関わりは特に相談や支援といった形はなく、近況報告や挨拶する程度で終わっている。	サービス利用が終了された方の関わりは特に相談や支援といった形はなく、近況報告や挨拶をする程度で終わっている。		

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様の意向に沿うように日々の関わりの中で、さり気ない会話や仕草から把握し、また、困難な場合は家族や職員で検討し利用者様本位の支援に努めています。	利用者様の思いや意向を受け止め、出来るだけ意向に沿えるような支援を行っています。また困難な場合は家族様と職員間で話し合い利用者様本位の支援に努めています。	作品作りやお風呂の時間に利用者様の思いを聞く事が出来る。行きたい所、食べたい物の要望には様子を見ながら対応され喜ばれている。つぶやきや思わぬ行動に気付き記録に残し、介護計画にも活かされている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の家族様からの聞き取りや担当ケアマネジャーや他事業所から情報把握に努めています。	入居前の情報を家族様からの聞き取りや担当ケアマネジャーからの情報提供を共有し把握に努めています。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、 有する力等の現状の把握に努めている	利用者様一人ひとりの能力、体調 に合わせ無理なく過ごせるようケー ス会議等で話し合い現状把握に努 めています。	利用者様一人ひとりの残存機能、 体調に合わせ無理なく過ごせる サービスの提供についてケース会 議、モニタリング時に話し合いを 行っている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアの あり方について、本人、家族、必要な関係 者と話し合い、それぞれの意見やアイディ アを反映し、現状に即した介護計画を作成 している	本人様の状況・状態を常に把握し その人に合ったケアが出来る様に 家族様とのモニタリング時の意向等 をケース会議に反映させ介護計画 の作成に努めています。	利用者様の状態、状況を把握し本 人に合ったケアについて家族様に 面会時やモニタリング時に意向を 伺っている。また職員間でケアを検 討し利用者様にとってより良い介護 計画の作成に努めています。	担当者会議に家族の参加があり、 家族から歩かせて欲しい、体操をさ せてほしい等の意見がある。体力、 気力や申し送りノートをもとに介護 計画を作成されている。期間中容 態の変化があった際には現状に 沿った介護計画に見直し、家族にも 報告されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づき や工夫を個別記録に記入し、職員間で情 報を共有しながら実践や介護計画の見直 しに活かしている	介護記録等により情報共有を行い 実践に努め、気づき、見直し等ある 場合は話し合い介護計画の見直し に活かしています。	ケース記録等により情報共有を行 い実践に努め、気づき、見直し等あ る場合は話し合い介護計画の見直 しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれる ニーズに対応して、既存のサービスに捉 われない、柔軟な支援やサービスの多機 能化に取り組んでいる	利用者様、家族様の会話から得た 情報や家族様の状態変化に、必要 に応じて支援サービスにも、柔軟な 対応で取り組んでいます。	利用者様、家族様の状況、状態の 変化に応じて必要な支援やサービ スの提供に心掛け取り組んでいる。 家族様の面会や電話等についても 柔軟な対応で取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源 を把握し、本人が心身の力を発揮しながら 安全で豊かな暮らしを楽しむことができ よう支援している	玄関先での面会から居室での面会 が出来るようになりました。外出に 関しては制限があり、ボランティア や近隣学校との交流が出来ず地域 資源との協働は不十分である。	居室での面会は実施しているが、 外出に関しては制限している。介護 相談員の受け入れは行っている が、ボランティアの受け入れや近隣 学校との交流が出来ず地域資源と の協働は不十分である。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	かかりつけ医との受診継続の為、 家族様付き添いをお願いしていま すが、近隣医院には職員が同行し 検査結果を家族様へ報告していま す。また、利用者様の状況に応じて 訪問診療を受けられています。	かかりつけ医の受診継続の為、家 族様付き添いで受診されており、近 隣医院において定期的な診療に関 しては訪問診療を受けられ、緊急受 診・検査受診等の時は職員同行で 受診を行い、家族様に受診・検査結 果等を報告している。	かかりつけ医の受診は基本家族で あるが必要に応じて職員の同行も ある。歯科等の訪問診療を受けら れる方もある。他科も家族の協力を お願いしている。緊急時は職員が 同行し病院で家族と合流すること になっている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪 問看護師等に伝えて相談し、個々の利用 者が適切な受診や看護を受けられるよう に支援している	利用者様の体調変化の気づきを相 談でき、急変時の助言や医療的支 援があります。また、病院看護師と の連携を取りながら適切な受診に 繋がっています。	利用者様の体調変化の気づきを相 談でき、急変時の助言や医療的支 援があります。また、病院看護師と の連携を取りながら適切な受診に 繋がっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院できる ように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。又は、そうした場合に備え て病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時の情報交換や入院中の 状態、病院関係者との情報交換を 行い退院後の支援に役立てていま す。	入退院時の情報交換や入院中の 状態把握について病院関係者との 情報交換を行い退院後の支援に役 立てている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合 いを行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期に関しては契約時 に説明を行い、ホームでの対応困 難時は家族様に伝え状態に応じて 職員、家族様、主治医を交えて話 し合いを行ないます。	重度化や終末期に関しては契約時 に説明を行い、ホームでの対応困 難時は家族様に伝え、状態に応じ て職員、家族様、主治医を交えて話 し合いを行っています。	入居時に重度化、終末期につい て、事業所で出来る事を説明し同意 を得ている。看取りの経験はない。 状況により家族と話し合い、医師の 指示に従って対応される。管理者は 勉強会に参加しているが、今のと ころ体制は出来てない。今後の看取 りについて検討中である。	

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全職員に対して急変や事故発生時における対応についてマニュアル作成を通して共有するようしており、又、感染予防対策研修会に参加し伝達を行っていますが、定期的な応急手当や初期対応の訓練ができておらず、実践に向けての研修、勉強会が必要である。	全職員に対して急変や事故発生時における対応はマニュアル作成をしているが、定期的な応急手当や初期対応の訓練は出来ておらず、AEDの扱いや実践に向けての研修・勉強会が必要である。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時に向けてのマニュアル作成、避難訓練計画に挙げて実行していますが、今年度より地元消防団や消防署、近隣協力員との合同訓練を実施しています。また、夜間訓練は日中に夜間想定した訓練に留まっています	災害時に向けてのマニュアル作成、避難訓練計画に挙げて実行しています。今年度より地元消防団や消防署、近隣協力員との合同訓練実施しました。令和元年の水害では避難さえしなかったが対応策としてBCP(事業継続計画)に加えています。	年2回夜間想定訓練を消防署、地元消防団と利用者との参加で実施されている。毎年消防車4台、消防員20名程と協力員の参加がある。周囲の住民に訓練の案内を配布をしているが参加はない。応援体制は出来ている。担当者は、コンセントの点検、スプリンクラーの点検を行い、火災時一斉メールを職員に送信される。備蓄の準備もある。	
ときょう						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	朝礼時に唱和している基本理念の三愛に基づき人権を尊重し誇りやプライバシーに配慮した声掛けに努めています。ただ、突発的な危険行為や暴言に対して感情的になることもあり反省する場面も見られる。	朝礼時に唱和している基本理念の三愛に基づき人権を尊重し誇りやプライバシーに配慮した声掛けに努めています。ただ、突発的な危険行為や暴言に対して気配りにかける声掛けや対応が見られる事もあり反省する点が見られます。	接遇研修は実施されている。年上である利用者へ言葉使いも慣れ慣れしくならぬように注意している。声掛けの際にも大声や強い口調等にならないように気を遣っている。職員の気になる行動や態度については管理者が指導されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様との関わりの中で洋服選びや飲み物選択、レクリエーション参加などの自己決定出来る機会を作り本人の意思に添った支援に努めています。	利用者様との関わりの中で思いや希望などを聞き出せるよう声掛けや支援を行い自己決定出来る様に努めています。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人その人に合ったペースで支援に心掛けていますが、どうしても集団生活の中で希望に添えない場面もあります。	その人その人に合ったペースで支援に心掛けており、レク活動等のお誘いや起床のタイミングも無理せず、出来るだけその人に合った支援の提供を心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入浴時の着替え準備において自分で用意されたり、朝の洗顔時での洗顔フォームを用意自分で整容される方の手伝いを行い、整髪についても家族様の支援により美容室に行かれる方もおられます。又、訪問散髪を利用され自分の好みにカットされる方もおられます。	本人希望や家族様の用意された衣類等着て頂き、整髪についても家族様の支援により美容室に行かれる方もおられます。又、定期的な訪問散髪を利用され自分の好みにカットされる方もおられます。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	時に調理の下ごしらえやつぎ分け等のお手伝いをして頂き、献立の説明や食べやすい食事形態の工夫を行い、又、季節感のあるメニュー作りの為その時節の果物を取り入れ楽しみを持てるようにしています。他、職員も一緒に同席し家庭的な雰囲気づくりを行っています。	職員と一緒に台所に立ち簡単な調理手伝いやつぎ分け等のお手伝いをして頂き、また献立の説明、利用者様に応じた食べやすい食事形態での提供を心掛けています。食事は新鮮な食材を使用し、時には利用者様の好みの食事を献立に取り入れてもらい提供しています。	食事は事業所で調理されている。法人の栄養士が利用者の希望を取り入れ献立を作成されている。調理専門の職員がいるが職員も交代で調理されている。食材は地域のスーパーに発注しているが、町特産のレンコン等を近所の方から頂く事もある。食べ易い形態にし介助無くおいしいと完食されている。職員も同じテーブルに着き声掛けしながら同じものを食べている。茶碗や箸は入居者の好みのものを持ち込まれている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者様に合わせて食事量や形態を考慮して提供しています。水分も好みの飲み物で水分補給回数が増えるよう工夫して水分不足にならない様に努めています。	利用者様其々に合わせた食事量や食事形態に工夫をおして提供しています。また水分補給の制限のある方、不足している方に対しては個々に応じた提供を行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアの声掛けを行い、出来ない方の介助を行っています。特に義歯装着される方の義歯洗浄は細めに行い、又、義歯消毒については訪問歯科の先生の助言により毎食後に洗浄剤を使用し実施しています。	毎食後に口腔ケアの声掛けを行い、介助の必要な方には職員が行い義歯使用の方には毎日昼食後に義歯洗浄を実施しています。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用し排泄パターンを把握し早めの誘導にて汚染回数減に努めています。又、さり気ない声掛けにて排泄チェックを行い、必要時には清拭対応しています。	利用者様、一人ひとりの排泄パターンを把握し早めの誘導にて汚染回数減に努めています。声掛けにて排泄チェックを行っています。	排泄パターンに沿った声掛けしトイレ誘導している。独歩の方、サインを出す方もある。衣類の上げ下げが出来る方もあるが、職員が身繕いを手伝っている。夜はポータブルトイレを使用される方もある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便状況を把握し水分補給や乳製品、繊維質の多い食事の提供、歩行運動、腹部マッサージなど便秘予防に努め、長時間続く場合は主治医への相談を行っています。	排便チェック表にて排便状況を把握し便秘予防の為、乳製品提供や水分補給を充実しレクリエーションの場での体操を取り入れている。長期間に及ぶ時は医師への相談もしています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴日は基本的には週3回となっておりますが、体調や希望によっては隣ユニットでの入浴は可能である。時間帯は午前午後と利用者様に合わせて対応しています。夜間の使用については勤務体制上困難である。又、特に順番等決めず本人様の状態・希望に合わせて対応しています。	入浴日は基本的には週3回となっておりますが、体調や希望によっては隣ユニットでの入浴は可能である。時間帯は午前午後と利用者様に合わせて対応しています。特に順番等決めず本人様の状態・希望に合わせて対応しています。	週3回の入浴である。体調や気分で見え変わる場合もある。季節湯(ゆず、ショウブ)にも対応されている。お風呂は話も出来てゆったりした時間である。嫌がられる場合は対応する職員や話題を変えて誘導されている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	室温調整や寝具調整に気を配り安心して休んで頂けるように支援しています。不穏になられる方には傾聴し入眠出来る様に支援しています。	室温調整や寝具調整に配慮し安心して休んで頂けるように支援しています。不穏になられる方にはその都度対応しゆっくり入眠出来る様に支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情により副作用を把握し症状には注意して医師へ報告しています。また、職員間での情報共有のため報連相ノートを活用しています。	薬情により効能、副作用を把握し症状には注意して医師へ報告しています。また、職員間での情報共有のため報連相ノートを活用しています。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯干し、洗濯物たたみ、調理の下ごしらえ等行う役割がある事が自信への繋がり、職員と一緒に出来る事で気分転換の支援をしている。本来であればドライブ・買い物等の外出支援を通して気分転換に繋げるが、コロナ感染予防の為、外出支援が中止となっている。	洗濯物干し畳み、簡単な調理の手伝い等行う役割がある事が自信への繋がり、職員と一緒に出来る事で気分転換の支援をしている。従来はドライブ・買い物等の外出支援を通して気分転換に繋げるが、コロナ禍以降外出支援が中止となっている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出支援は出来ておらず、玄関先やウッドデッキでの外気浴、近隣の散歩を実施している。	新型コロナウイルス・インフルエンザ感染症予防対策として外出支援は控えている。玄関先やウッドデッキでの外気浴、ホーム周辺の散策は実施している。	コロナ5類移行になったが人手不足や利用者の高齢化により以前のような外出は出来ていない。唯一の外出は病院受診の時である。天気の良い日は駐車場に出て外気浴、日光浴で気分転換も出来季節を感じている。学校から子供の声が聞こえる。正月は近くの神社に初詣の計画がある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いとして家族より担当職員が預かり、日用品の購入や医療費の支払いに当てています。本来希望があれば職員が同行し買い物に行くこともありますが、コロナ感染予防の為、買い物に行くことは現時点では控えている。	お小遣いとして家族様より預かり、日用品や医療費等の支払いを担当職員が行っている。従来は希望の品を職員同行で買い物するなどの支援をしていたがコロナ禍以降は感染予防対策として控えている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者、家族様の要望があれば電話を掛けたりその都度対応しています。	利用者様、家族様の要望に応じて電話のやり取りをその都度対応している。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じた作品や飾りを掲示して雰囲気作りに努めています。又、ソファや椅子の配置にも気を配りくつろげる環境づくりをしています。	利用者様と一緒に作成した季節に応じた作品などを掲示している。またホーム内はコロナを含め感染症予防の為、空気の入替え(換気)を行うと同時に空気清浄機設置を行っている。	リビングは天井が高く開放感がある。テーブルを囲み長いソファに掛けテレビを見たり、新聞を読む方もある。利用者の季節の作品クリスマスツリー、ぬりえ、習字や今日の献立が掲示されている。畳の間もある。職員は台所から利用者の様子を見守っている。掃除は職員が行っている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者様が気の合う方と会話出来るように声掛けや席の移動をお願いしたりしています。	居室やホールを利用者様本位で過ごして頂き、気の合う方との会話が出来るように配慮しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様の使い慣れた物や家族の写真など持参して頂き飾ったり、自分で作成された作品など置かれ、中には仏壇を持参されている方もおられ、自宅におられるような雰囲気作りに努めています。	入居前に利用者様本人が使い慣れた物の持ち込みをお願いをし、居室内には家族様とのゆかりの物などを飾り自宅で過ごされている様に工夫しています。	居室入口には季節を感じる絵と名札と緊急時の搬送等の確認ができる様に「車椅子」「歩行」等のがあり、裏には「退避済」と書かれている。居室へは多くの持ち込みはないが仏壇、造花、写真、切り絵など好きな物が飾られている。掃除は朝早くからされる方もある。整理整頓され過ごしやすい工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室の入り口やホールの自席や椅子に名前を分かり易くしています。又、トイレには直ぐに分かるように貼紙をし、使い方なども中の方に掲示しています。	居室の入り口やホールの自席や椅子に名前を分かり易くしています。又、トイレには直ぐに分かるように貼紙をし、使い方なども中の方に掲示しています。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)		○	1. ほぼ全ての利用者の
		○		2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)		○	1. ほぼ全ての利用者が
		○		2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)			1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
		○	○	4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)			1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
		○	○	4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない